

コリント人への手紙第一 14:26-40 秩序ある礼拝が教会を築く

ほとんどの方が他の教会にビジターとして行かれたり、属されたりしたことがあると思います。礼拝の構成やキリストの体としてどのように集うのかといったことで、様々な教会ごとの違いが見えたのではないのでしょうか。音楽に重点をおいているのか、あるいは典礼、祈り、聖書、説教など礼拝のどの部分に重点をおいているのか。もちろん、それら全てが礼拝の一部なのですが、教会によってその構成は違ってきますし、それが悪いことではありません。では、聖書は私たちの礼拝について具体的な指針を示していないのでしょうか。あるいは、私たちは自分たちが好きなように礼拝すれば良いのでしょうか。今日の聖書箇所であるコリント第一 14:26-40 は、そうした疑問に対するガイドラインを与えてくれます。この箇所は 12 章からパウロが始めた霊的な賜物に関するセクションの終わりとなります。そして、ここでパウロは、霊的な賜物についてのその他の議論に基づいて結論を導き出し、指示を与えています。霊的な賜物と礼拝にそれらの賜物をどのように用いるのかについてパウロが私たちに語っていることは、教会において聖書的な礼拝とはどのようなものかを示す指標となるものです。それが示す範囲の中でも様々な違いが生まれる余地はありますが、神が望まれる教会を築くためには、この聖書的な基準に沿った礼拝を行うべきです。

まず 26-33 節を読みましょう。「26 それでは、兄弟たち、どうすればよいのでしょうか。あなたがたが集まる時には、それぞれが賛美したり、教えたり、啓示を告げたり、異言を話したり、解き明かしたりすることができます。そのすべてのことを、成長に役立てるためにしなさい。27 だれかが異言で語るのであれば、二人か、多くても三人で順番に行い、一人が解き明かしをしなさい。28 解き明かす者がいなければ、教会では黙っていて、自分に対し、また神に対して語りなさい。29 預言する者たちも、二人か三人が語り、ほかの者たちはそれを吟味しなさい。30 席に着いている別の人に啓示が与えられたら、先に語っていた人は黙りなさい。31 だれでも学び、だれでも励ましが受けられるように、だれでも一人ずつ預言することができるのです。32 預言する者たちの霊は預言する者たちに従います。33 神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。」12 章の始めから、パウロは私たち皆が霊的賜物を持っていると言っています。それらは様々で、どれがより優れているといったこともありません。その性質上、非常に公共性が高い賜物であれば、教会を築く賜物という点でより大きな賜物を求めるべきです。究極的には、私たち皆が真に偉大な賜物である愛を、教会において互いに示すことを求めるべきです。こうした議論を終えるにあたり、パウロは預言と異言という二つの賜物に注目しました。そしてそうした神学的な話を終え、これらの賜物について語った全てのことに基づいて、非常に具体的な指示を与えます。まずは、礼拝のすべてがキリストの体を成長させるためのものであるという点を強調しています。その中には私たちも取り入れている歌や説教も含まれますが、預言的啓示や異言といった超自然的な賜物も含まれます。

異言について、パウロは「だれかが異言で語るのであれば」と言っています。語るのであれば、ということは、異言で語る必要はないということで、これまでの彼の発言から察するに稀な事であったと思われます。もちろん、異言で語る人がいるのなら、それについて指示を与えています。27-28 節では次のように述べています。「だれかが異言で語るのであれば、二人か、多くても三人で順番に行い、一人が解き明かしをしなさい。28 解き明かす者がいなければ、教会では黙っていて」礼拝において誰かが異言を語るという時、それを解き明かす者がいないとしたら、その礼拝は神のみ言葉である聖書に従っていないということになります。とても正直で誠実な人たちの礼拝かも知れませんが、私たちの礼拝は自分たちの望みや感情にではなく、神のみ言葉に従ったものでなくてはなりません。もちろん、ここでも異言の賜物が非難されているわけではありません。28 節の最後に「教会では黙っていて、自分に対し、また神に対して語りなさい。」とあることに注目してください。もう一度言いますが、異言は個人的に用いられる賜物ですが、礼拝での使用は制限されるべきです。

次に 29 節からは預言について述べています。「**29 預言する者たちも、二人か三人が語り、ほかの者たちはそれを吟味しなさい。**」新約聖書の預言と説教が多くの特徴を共有していながら、違ったものであるということは何度か論じてきました。それは完全な聖書が無い中、神は教会において預言者を通して直接啓示をされていた可能性が高いからです。ですが、そうした預言の性質上、それが神からのものであるという同意が得られるかどうか、聞いている人々によって吟味される必要がありました。このことは、今日、預言だとされるものにも同様に当てはまります。ヨハネ第一 4:1 はこう言っています。「**愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。**」この説教や預言の内容を吟味するということは、今日も実践されるべきです。絶対的な真理の唯一の源として確かに信頼できるのは聖書だけです。それ以外のものは全て、聖書の真理に照らして吟味し、御言葉と一致しないのであれば拒絶するべきなのです。それは私の説教も含めてです。サンデースクールやバイブルスタディーの内容もしかりです。それだけでなく、皆さんが読む本や、お気に入りの説教者の話、Facebook やインスタグラムの動画や画像もです。このように公に吟味し、発言について議論していたのは誰だったのでしょうか。文脈からは全員ではないようです。次の節で女性は黙っているようにと言っていることを考えると、パウロがここで言っているのは教会にいる預言者や長老のように思えます。32 節を見るとこの考えが正しいように見えます。

「**32 預言する者たちの霊は預言する者たちに従います。**」現代の牧師は初代教会の預言者と全く同じとはいえませんが、複数の牧師や長老がいることの利点の一つは、教会における説教や教えについて協力し合えるということです。主任牧師が自分の説教について、あるいは説教を書いている間でも、教会の教えと教義を守るという務めを共に負っている他の長老からフィードバックや訂正を受けることは良いことです。

異言と同じように、預言をする人も一度に皆が話すのではなく、順番に話すべきです。礼拝において神のみ言葉が教えられる際、預言について重要となる点が 31 節に記されています。神のみ言葉が宣べ伝えられたり、語られたり、預言されたりするのは、だれでも学び、だれでも励ましがうけられるように、です。この二つの点は、私たちが神のみ言葉を宣べ伝えるときにも同じであるべきです。神のみ言葉を学ぶことは、神のみ言葉を適用することと同じく、私たちと目標であるべきです。ある聖書箇所を完全に理解するために解説を交えながら話すこともできますが、それで説教が終わってしまうとしたら、ここにあるパウロの言葉を真に実現したことにはなりません。説教とは単にテキストを解説することではなく、神のみ言葉を私たちの日常生活に適用することです。説教者の役割とは、新約聖書の預言者たちがそうであったように、クリスチャンが直面する現実的な状況に神のみ言葉を適用することです。私にとって、それが説教について最も難しい点であります。聖句について説明したり論証したりということは得意ですが、それを日常生活にどう適用すべきかということの説明するのは容易ではありません。聖書の知識をたくさん与えられたとしても、その知識を実際に自分の生活に適用する助けにはなれていないと感ずることが多々あります。その日の説教について議論し、私が壇上で費やす時間やそこで言及できる以上に適用に踏み込んで話してくれるサンデースクールクラスがあることはとても感謝なことです。これは今日の私たちが、言われたことについて吟味し、それを適用することの例でしょう。では、この箇所は礼拝について私たちに何を語っているのでしょうか。

まず、ここにある礼拝についての最初のルールは、**真の礼拝は聖書を説明し、私たちの生活に適用できるような神のみ言葉で満たされていなければならない**ということです。それが整然と行われるなら、33 節の「**神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。**」という言葉に繋がります。

もちろんパウロはそこで終わりません。パウロは続けて、読み飛ばしてしまいがちな、非常に論議を呼ぶ発言をしています。ですが、今預言について見たように、神が語っておられるのであれば、私たちはその預言の言葉を聞き、理解し、適用しなくてはなりません。33 節の終わりから読み進めましょう。

「聖徒たちのすべての教会で行われているように、34 女の人には教会では黙っていなさい。彼女たちは語ることを許されていません。律法も言っているように、従いなさい。35 もし何かを知りたければ、家で自分の夫に尋ねなさい。教会で語ることは、女の人にとって恥ずかしいことなのです。」パウロは霊的な賜物について、またそれが礼拝の中でどのように用いられるべきなのかについてまとめている中で、女性について、正直なところとても厳しいと思われるとても具体的なことを言っています。礼拝という状況において、ここでは何を言おうとしているのでしょうか。まず、聖書の他の部分に基づいて何を言わんとしていないかを見てみましょう。第一コリント 11:5 を覚えておられるでしょうか。パウロは「5 しかし、女はだれでも祈りや預言をするとき、頭にかぶり物を着けていなければ、自分の頭を辱めることとなります。それは頭を剃っているのと全く同じことなのです。」と書いていました。

これは、少なくとも何らかの形で女性が教会で話すことを期待されていたことを明確に示している箇所です。ですから、女性は教会で話すことを全て制限すべきだとパウロが言っているのではなさそうです。

けれども、女性が礼拝に関わることを明確に示している箇所は一つですが、女性が教会で黙っているべきだとパウロが言っているのは、この箇所だけではありません。第一テモテ 2:11-14 ではこのように言っています。「11 女は、よく従う心をもって静かに学びなさい。12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。13 アダムが最初に造られ、それからエバが造られたからです。14 そして、アダムはだまされませんでした。女はだまされて過ちを犯したのです。」この第一テモテでは、パウロの言葉が第一コリント 14:34 にある「教会では黙っていなさい」という言葉ほど広範囲に及ぶことを言っていないようだとすることに注目してください。公に神の言葉を教えたり、説教をしたり、教会で男性に権威を示したりするのは沈黙するようにと書いています。ですから、第一テモテで教会において男性に教えたり権威を示したりという具体的な行動について言及しているのと同じく、第一コリントでも黙っていなさいという命令は、この箇所の特定の状況についてのものです。そこで、先ほど見た 2 節に戻って、どのような状況なのかを確認します。29 節は「二人か三人が語り、ほかの者たちはそれを吟味しなさい。」と書いています。このように、まだ聖書全体が完成する以前に、権威を持って神の言葉を説教する状況において、女性は黙っていなさいとパウロは言っているのです。指摘したように、このような予言的な説教をするのは長老たちであり、その教えに関する議論に参加するのも他の長老たちであったと思われます。つまり、この箇所で重要なのは女性に対する厳しい制限ではなく、聖書の他の部分で教えられていること、つまり教会において長老は男性であるという点です。女性が礼拝で話すことを制限されるわけではありませんが、公の礼拝において神の言葉を説教したり預言したりするのは男性に限られ、しかもそれは長老と呼ばれる人たちに限られるということです。

長老は、第一テモテ 3:2 に「ですから監督は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり」とされているように、神のみ言葉を教える特別な賜物を与えられた人であるべきです。

ですから、神のみ言葉の権威ある教えや説教を通して教会を導く長老は男性であるべきなのです。それが、この女性に向けられた言葉の本当の意味です。

その意味の範囲を超えて、女性の皆さんが礼拝の重要な役割を果たすことを制限すべきではありませんし、逆に現代の教会の多くのようにこれを無視してしまうべきでもありません。

これが教会で秩序ある礼拝を守るための二つ目のルールです。

礼拝は、神が定められた教会における男女の役割分担に従って行われなくてはなりません。

では、賜物についての最後の箇所に進みます。まず 36-38 節を読みます。「36 神のことは、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいは、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。37 だれかが自分を預言者、あるいは御霊の人と思っているなら、その人は、私があなたがたに書くことが主の命令であることを認めなさい。38 それを無視する人がいるなら、その人は無視されます。」最後の部分には 3 つの要素があります。一つ目は 36 節にある問いです。

皆さんは神のことばの源、あるいはそれを受けた唯一の存在なののでしょうか。

答えはノーです。神のみ言葉はいかなる人からのものではなく、特定の教会に与えられたわけではなく全ての教会に与えられたものです。ですから、神からのメッセージだと主張するものは、聖書に啓示された明確な神のみ言葉に沿ったものでなくてはなりません。

それがここにある二つ目の要素から得られるものです。37節では、どんな預言や教えも、パウロがここに書いていることと一致しなくてはならないとしています。

パウロは聖霊の靈感のもと、自分が聖書を書いているのだということをはっきりと理解していました。そして、神からのものだと主張するものは、既にある御言葉と一致しなければならないということも。ですが、ある教えが聖書と一致しているかどうかを最終的に判断するのは誰なののでしょうか。38節ではこのことについて「**38 それを無視する人がいるなら、その人は無視されま**す。」と言っています。誰が無視されるのでしょうか。それは聖書に沿って教えない人、つまり異端を教える人ということになります。誰がそうした人やその教えを無視するのでしょうか。それは教会です。それがここにある3つ目の要素です。長老や牧師の務めは、間違った教えから教会を守ることです。使徒の働き 20:28 は長老についてこう言っています。「**あなたがたは自分自身と群れの全体に気を配りなさい。神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、聖霊はあなたがたを群れの監督にお立てになったのです。**」ですが、聖書の教えを承認したり、聖書に沿わない誤った教えを認めないことは、教会全体に課せられたことでもあります。これら3つの要素いから、礼拝の3つ目のルールである「**礼拝は間違った教えが教えられるのを決して許してはならない**」ということが分かります。ヨハネ 4:24 で「**神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。**」という真理をイエスが含んでいるのには理由があります。歌であれ説教であれ、あるいは聖餐式に対する姿勢、また礼拝に対する軽薄な態度でさえも、誤った教えが教会に入り込むことを決して許してはなりません。

では、私たちの礼拝はどのようにあるべきでしょうか。第一に、神のみ言葉に満たされたものであること。第二に、神が定めた男女の役割に沿ったものであること。そして第三に、神のみ言葉の真理のみを宣べ伝えること。もちろんこれは、二つの賜物に関する議論を中心に語られているので、パウロは39節で次のように締めくくっています。「**ですから、私の兄弟たち、預言することを熱心に求めなさい。また、異言で語ることを禁じてはいけません。40 ただ、すべてのことを適切に、秩序正しく行いなさい。**」つまり、コリントのどうしようもない教会や今日の教会に対して、パウロが語った一致に関する議論や、教会内にある罪への対処、主の晩餐など諸々のことと同じく、目標は個人ではなく、すべて神を指し示すようにすることです。

与えられている賜物を互いを高め合うためにきちんと秩序をもって用いることは、自分を中心とするのではなく、礼拝において神を愛し、奉仕を通して他者を愛することにフォーカス向けることに繋がります。ですから、私たちは教会として人々を神に導くため、礼拝の全てを秩序ある、敬虔で、きちんとした形で行おうと努めます

そして、教会において他の人をただ愛することが教会の礼拝に貢献する最善な方法であることを心に留めつつも、そのような礼拝に貢献できるような賜物を持っておられるなら、それが用いられるよう求めていくべきです。祈りましょう。

1 Corinthians 14:26-40 Orderly worship builds the church

Most of you have visited or been a part of other local churches in other places. You can usually see various differences between churches by how they structure their worship services and gather as a body to worship. You can see whether their focus is on music, liturgy, prayer, Bible, preaching or any other parts of worship. Of course, properly all of those things are a part of worship but different churches structure them differently and of course there is nothing wrong with that. So does the Bible give specific guidelines for our worship? Or can we just do our worship services however we want? Today's passage, 1 Corinthians 14:26-40, gives us some guidelines to answer those questions. This is the end of the section on spiritual gifts that Paul began in chapter 12. And in this passage, Paul draws some conclusions and gives instructions based on the other arguments he has made regarding spiritual gifts. And what he gives us here in these words about spiritual gifts and their use in worship is the parameters of what Biblical worship should look like in the church. Within these walls, there is wide ranging room for differences, but **in order to build the church as God desires, we must conform to these Biblical standards in our worship.**

Let's begin by reading verses 26-33. **26 What then, brothers? When you come together, each one has a hymn, a lesson, a revelation, a tongue, or an interpretation. Let all things be done for building up. 27 If any speak in a tongue, let there be only two or at most three, and each in turn, and let someone interpret. 28 But if there is no one to interpret, let each of them keep silent in church and speak to himself and to God. 29 Let two or three prophets speak, and let the others weigh what is said. 30 If a revelation is made to another sitting there, let the first be silent. 31 For you can all prophesy one by one, so that all may learn and all be encouraged, 32 and the spirits of prophets are subject to prophets. 33 For God is not a God of confusion but of peace.** From the beginning of chapter 12, Paul has been making the case that we all have spiritual gifts. They are different, and none better than another. In those gifts that are very public in their nature, we should seek the greater gifts in the sense of those gifts that build the church. Ultimately, we all should be seeking to express the true greatest gift, love, to one another in the church. As he has drawn this discussion to a close he has been focusing only on two specific gifts, prophecy and tongues. He is now going to stop talking theologically and move into very specific instructions based on everything he said about those gifts. First, he reinforces his main point that everything in worship is for the purpose of building up the Body of Christ. That includes singing and preaching which we continue to practice, but it also include supernatural gifts such as prophetic revelation or tongues.

When it comes to tongues, Paul says that **If any speak in a tongue...** If tells us that it doesn't have to happen, and based on his previous statements, it likely would be an uncommon practice. Of course, he does give instructions if someone speaks in tongues. He goes onto say in verses 27-28, **If any speak in a tongue... let there be only two or at most three, and each in turn, and let someone interpret. 28 But if there is no one to interpret, let each of them keep silent.** If you are ever in a worship service and someone claims to be speaking in tongues and there is no one interpreting what that person is saying, then they are out of line with the Bible, God's Word. They may be very honest and sincere in that worship, but we must conform our worship to God's Word, not our own desires and emotions. Of course again here we see him not condemn the gift of tongues. Notice how he ends verse 28, **let each of them keep silent in church and speak**

to himself and to God. Tongues is again a gift that can be used in a personal way, but should be limited in its use in worship.

Next he deals with prophecy starting in verse 29 **29 Let two or three prophets speak, and let the others weigh what is said.** I've discussed several times how New Testament prophecy while sharing many characteristics of preaching is different because without a complete Bible, God was likely speaking direct revelation through these prophets in the church. But given the nature of this prophecy, it needed to be tested by those listening to see if there was agreement that this was from God. This would also apply to anything that calls itself prophecy today as well. **1 John 4:1 says, Beloved, do not believe every spirit, but test the spirits to see whether they are from God, for many false prophets have gone out into the world.** This idea of testing what is preached or prophesied should still be practiced today. The only source of absolute truth that can be trusted implicitly is the Bible. Everything else we should be questioning against the truth of the Bible and rejecting it if it does not line up with Scripture. That includes my preaching. It includes the teaching that happens in our Sunday School classes and Bible studies. But also books you read, sermons you listen to from preachers you like, and even those memes that show up on Facebook and Instagram. Who was it that was doing this public weighing and discussion of what was said? In context it seems like it is not everyone. Considering the next verses on women keeping silent, it seems like Paul has in mind here the other prophets or Elders within the church. Verse 32 would seem to support this idea. **32 and the spirits of prophets are subject to prophets.** While modern day pastors are not completely equivalent to early church prophets, One of the benefits of multiple pastors or elders is that there is collaboration about the sermons and teaching of the church. It is good for the lead or teaching pastor to receive feedback and even correction over the messages that are preached or even while still writing the sermon from other elders who are also tasked with protecting the doctrine and teaching of the church.

Just as with tongues, prophets should be speaking in turn, not all at once or over the top of each other. He makes a key point in verse 31 about prophecy that would carry over to any time God's Word is taught in the worship service. The Word of God is being proclaimed or preached or prophesied for the purpose **that all may learn and all be encouraged...** These are two things that should be true of our proclamation of the Word of God as well. Learning the Word of God should be our goal as well as application of the Word of God. I could talk through a passage adding commentary along the way to give a complete understanding of the passage, but if the sermon ends at that, I have not truly fulfilled Paul's words here. Preaching is not just commentary on a text, it is application of God's Word to our everyday lives. The role of the preacher which in part is what these New Testament prophets were, is to bring the Word of God to bear on the real life situations that Christians go through every. I admit that this is the hardest part of preaching to me. I am much more comfortable with explanation and argumentation of a text of scripture, but application of that text I many times find difficult and probably short change you as the congregation in really applying the text properly. I am very thankful for the Sunday School classes that take the time to discuss the sermon from that day and go into more application than I have time for and ability to do from the pulpit. This would be a modern example weighing and thus applying what is said. So, to what does this passage say to us regarding our worship. The first rule we see about worship here is that **true worship must be saturated by the Word of God in a way**

that both explains and applies the Bible to our lives. When that happens in an orderly way, it leads to verse 33 that says, **For God is not a God of confusion but of peace.**

Of course that is not where Paul ends. He continues on to make a very controversial statement that it would be easy to skip over. But if God is speaking as we have just seen with prophecy, we have to listen, understand and apply God's prophetic Word. Let's pick up reading at the end of verse 33. **As in all the churches of the saints, 34 the women should keep silent in the churches. For they are not permitted to speak, but should be in submission, as the Law also says. 35 If there is anything they desire to learn, let them ask their husbands at home. For it is shameful for a woman to speak in church.** As Paul is wrapping up his thoughts on spiritual gifts and how they are used in worship in an orderly way, he throws in this one specific detail regarding women that seems rather harsh if we are being honest. So what is he saying here in the context of worship. First, let's start by looking at what it is not saying based on the rest of the Scripture. If you recall **1 Corinthians 11:5**, Paul says, **5but every wife who prays or prophesies with her head uncovered dishonors her head, since it is the same as if her head were shaven.** This is the clearest passage that shows that women were expected to be speaking in church in at least some ways, so it seems that Paul was not saying that women were restricted from all speaking in church.

But while there may only be one clear passage of women publicly taking part in worship services, this is not the only place where he says women should be silent in church. **1 Timothy 2:11-14** says, **11 Let a woman learn quietly with all submissiveness. 12 I do not permit a woman to teach or to exercise authority over a man; rather, she is to remain quiet. 13 For Adam was formed first, then Eve; 14 and Adam was not deceived, but the woman was deceived and became a transgressor.** Notice here in 1 Timothy, that Paul's words do not seem to be as broad as the wording of 1 Corinthians 14:34, **"Keep silent in the churches."** She is to be silent compared to publicly teaching or preaching God's Word or exercising authority within the church over the men. So, in this case in 1 Corinthians, the command to keep silent is connected with the specific context of this passage just as 1 Timothy is dealing with the specific action of teaching and exercising authority over men in the church. So we go back to verse 29 that we just looked at to see the context. Verse 29 says, **29 Let two or three prophets speak, and let the others weigh what is said.** It is in this context of what is likely the authoritative preaching of God's Word before the entire Bible was complete, that Paul says women are to be silent. As I pointed out, this is likely the Elders doing this type of prophetic preaching and it is other Elders involved in the discussion of the teaching. So, the main take away from this is no harsh restrictions on women, but only what the rest of the Bible teaches - male Eldership within the church. Women are not restricted from speaking in worship, but the Preaching or prophesying of God's Word in public worship is restricted to men, and even then primarily those called as Elders. Elders should be specially gifted in teaching the Word of God as **1 Timothy 3:2** says, **Therefore an overseer must be above reproach, the husband of one wife, sober-minded, self-controlled, respectable, hospitable, able to teach...** So, Elders leading the church through the authoritative teaching or preaching of God's Word are supposed to be men. That is the real meaning behind this statement directed towards women. We should not go beyond that in its meaning towards restricting all of you women from key roles in worship, nor should we ignore it as many if not most churches do today. **This is the second rule for orderly**

worship in church. Worship must be in accordance with God ordained gender roles in the church.

That brings us to the final verses of this discussion of gifts. First read verses 36-38. **36 Or was it from you that the word of God came? Or are you the only ones it has reached? 37 If anyone thinks that he is a prophet, or spiritual, he should acknowledge that the things I am writing to you are a command of the Lord. 38 If anyone does not recognize this, he is not recognized.** There are three elements to this final part of the passage. **One**...the questions in verse 36. Are you the source of the Word of God or even the only ones who have it? The answer is no. The Word of God is not the product of any human, and it is given to all the church, not just one specific local church. So any message that claims to be from God must be in line with the clear Word of God revealed in the Bible. That is what we take away from the **Second** element here. Verse 37 says that any prophecy or teaching must line up with what Paul here is writing. Paul clearly understood that under the inspiration of the Holy Spirit, he was writing Scripture. And anything that claimed to be from God must agree with known Scripture. But who is the ultimate judge of whether a teaching lines up with Scripture. Verse 38 is addressing this when it says, **38 If anyone does not recognize this, he is not recognized.** Who is it that is not recognized? That would be the one not teaching in line with the Bible, in other words someone teaching heresy. And who is it that is not recognizing them and their teaching? It is the church. That is the **third element** here. Now, the Elders or Pastors are tasked with protecting the church from false teaching. [Acts 20:28](#) says that Elders should... **“Pay careful attention to yourselves and to all the flock, in which the Holy Spirit has made you overseers, to care for the church of God, which he obtained with his own blood.”** But it is also on the whole church to approve or recognize Biblical teaching and reject or not recognize false unbiblical teaching. Those three elements give us the **third rule for worship, Worship must never allow false teaching to be taught.** There is a reason that Jesus includes truth in [John 4:24](#) **God is spirit, and those who worship him must worship in spirit and truth.** Whether it is in song, preaching or how we approach the sacraments, or even a frivolous or flippant attitude towards worship, we must never allow false teaching to enter the church.

So what should our worship be? One Saturated by God’s Word. Two, in line with God ordained gender roles. And three, proclaiming only the truth of God’s Word. Of course this is all revolving around a final discussion of two gifts, so Paul wraps up by saying in verse 39, **39 So, my brothers, earnestly desire to prophesy, and do not forbid speaking in tongues. 40 But all things should be done decently and in order.** So just as with Paul’s discussion of unity, dealing with sin in the church, the Lord’s Supper and all of what Paul has discussed for this messy church in Corinth and churches even today, the goal is to have all things point to God, not individuals. Using our gifts in a decent and orderly way to build each other up puts the focus again off of us and on loving God in worship and loving others in service to them. So, as a church we attempt to do everything in worship in an orderly and reverent, decent way in order to point people to God. And whatever gifts you have that can contribute to our worship in that way, you should seek to use, keeping in mind that simply loving others in the church is the greatest way we use our gifts to contribute to the worship of the church. Let’s pray.